



2025年12月25日

日本鉄道労働組合連合会

自動車連絡会第33回定期総会

持続可能なJRバス産業を構築すべく、直面する課題について議論！

自動車連絡会は10月28日、大阪市内にて第33回総会を開催した。全国からJRバス産業で働く仲間が集まり、人手不足をはじめとするバス産業の課題解決に向けて議論を交わした。

冒頭、自動車連絡会を代表して挨拶に立った矢田尊弘代表幹事（JR西労組西日本JRバス地本執行委員長）は、人手不足の中にあっても、



矢田代表幹事

増加する観光・インバウンド需要に対応している組合員の奮闘に謝辞を述べるとともに、安全確立はバス労働者の最大の使命であり、ABC運動等の安全の取り組みを推進していこうと呼びかけた。JR連合からは上村良成会長、石川敏也産業政策局長、谷口昌隆組織・政治局長が出席。代表して挨拶した上村会長は、産業基盤としての安全確保の重要性に言及したうえで、労働条件の改善や労働基準関係法制見直しの動向、男女平等参画推進や産業政策に対し課題を提起した。

総会では、JRバス産業の持続的な発展に向けた取り組みや安全の確立、各種政策課題の解決、労働条件の改善、組織の強化・拡大について向こう一年間の方針を決定。矢田代表幹事の団結ガンバロウで締めくくった。



万博輸送を支えた西日本ジェイアールバス大阪営業所を視察！



翌日は西日本ジェイアールバス大阪営業所の視察や大阪営業所との意見交換を実施。営業所の視察では、IT点呼の実施状況を確認し、参加者は導入のメリット等を体感し、自

組織での活用方を想起した。また、意見交換では、万博輸送への営業所一丸となった取り組みを聞くとともに採用、教育研修について議論し、有意義な機会となった。

自動車連絡会は、魅力あるバス産業の実現やJRバス労働者の処遇改善に向け、全国の仲間とともに一丸となって取り組んでいく。

